

すなお

令和6年10月号

発行所 天理教瀬戸路分教会

〒794-0007 今治市近見町4-5-10

URL <https://www.tenrikyo-setoji.net/>

☎ 0898-23-5004 責任者 二宮英治

発行日 2024.10.16 通巻 No.771



会長

「おぢばへ帰ろう！」今年の年頭から、そうお願いしました。今月は秋の大祭がつとめられ、来月は中和大教会で「ようぼくおつとめ総会」が開催されます。そうしたタイミングに合わせておぢばへ帰っていただいても良いですし、仕事の合間や日曜日にでも結構です。ともかくおぢばへお帰り下さい。

コロナ前は4月、7月、10月などに団参を組んで大勢で帰らせていただいたものです。それはそれでありありがたい姿だったと思いますが、今はそれぞれで帰ろうと思えば帰っていただける状況になっていると思います。みんなが帰るから、、、。ではなく自分がおぢばへ、そして教祖の元へ帰らせてもらうという思いが大切だと思います。

なぜおぢばへ帰るのか？おぢばは魂のふるさとでありたすけの根源です。先人の方々は何かあればおぢばへお願いに、お礼にと帰られ現在の信仰へと繋がっています。これはいつの時代になっても変わりありません。変わらない心でつとめるからこそ、変わらない御守護もいただけます。さあ、おぢばへ帰ろう！



「出来る喜び、出来た事の喜び」を感じて！

松浦 ひろみ

9月23日、主人が還暦を迎えました。主人の父は56歳で出直しました。その事を思えば、主人が56歳を迎えただけでも凄い事ですが…なんと元気に60歳を迎えさせて頂くことが出来ました。

それは主人が若い頃から、親会長様、会長様の言われる事を「ハイ」と一つ返事で神様の御用をつとめてきた、そのお陰で今の主人の姿があるのだと思います。

また、今回は子供達がお父さんのお祝いを、と計画してくれました。家族全員が揃う事は、まず難しいのですが、和歌山からも息子夫婦が帰って来てくれて、全員揃ってお祝いをさせて頂く事が出来ました。主人はお祝いの後、「ありがたい、ありがたい」と何度も何度も言って喜んでいました。

無事にお祝いを出来る事は「あたりまえ!!のようで!!あたりまえ!!」では決してありません。やはり大切な時間を何事も無く過ごさせて頂くためには、日々「雨の日、晴れの日（次ページへ）」

暑さ、寒さ、身上、事情」どんな日も「けっこう、けっこう」と喜んでいたら、神様からのご褒美を頂けるのだと改めて、感じる事が出来ました。

今度は70歳のお祝い出来るように、日々「よろこびさがし」を忘れないように、夫婦揃って通らせて頂きたいと思います。



にをいがけ

田中 道則

9月の末ににをいがけデーがあり、短時間でしたが陽都と2人で個別訪問に歩かせてもらいました。抱っこした陽都にインターホンを押してもらい、2人でドキドキしながら「天理教の者ですが〜」と廻らせてもらいました。

子供連れでにをいがけに行くと相手方の警戒心が和らぐ感じで断られても陽都に手を振ってくれたりしました。にをいがけが終わってまだ何のことやら分からない息子に「よう頑張ったね〜」とべた褒めして、何か美味しいもの食べに行こうと2人でニコニコしながら帰りました。

おやさまは、「まだお道を知らない人々ににをいがけをしてくれてありがとう！何でもほしいものをやろう」とお喜びになって下さると思います。自分が親になり、子供がつとめてくれる姿に喜ぶ親の気持ちがよく分かりました。あとでフライドポテトとソフトクリームを美味しそうに食べてる姿に、いいにをいがけデーやった、またやらせてもらおうと思いました。

《教会ニュース》

ようぼく一斉活動日(第3回)

来月3日(日)に第3回のようぼく一斉活動日が幾志分教会において午後1時から開催されます。参加費は300円です。今回の教区ビデオには大洋輝の会長さんが撮影、編集をされています。是非ともご参加下さい。そして、心に勇みを頂戴して下さい。

9月教会活動報告

9月16日、午後1時半より教会会館にて『シーグラスアート教室』を開催しました。

講師は奥さんで、14名(大人9名 子供3名)の方が参加があり、皆さん初めとは思えない程素敵な作品ができました。

